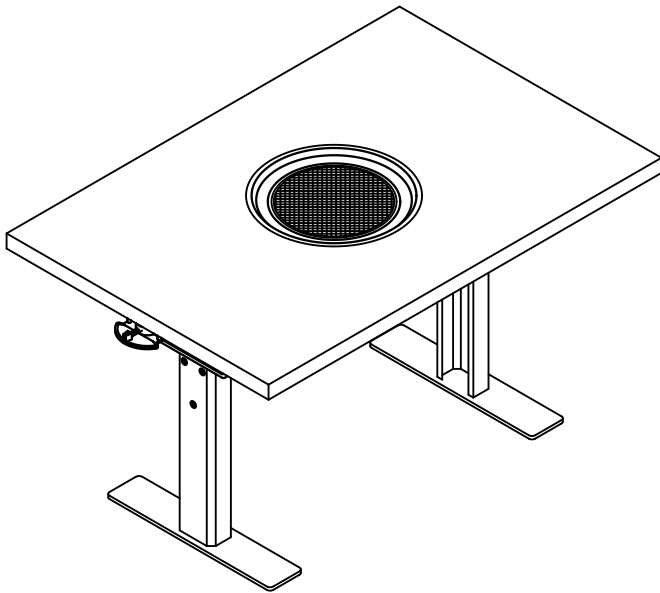


業務用 ガス焼物器

CTRK-271



このたびは、シルクルーム ガス 焼物器を、お買い上げ頂きましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに、保管しておいてください。




目次

特に注意していただきたいこと	1～3
各部の名称と仕様	4～6
設置について	6～7
ご使用方法	7～8
日常の点検・お手入れ	9
故障・異常の見分け方と処置方法	10
長期間使用しない場合	10
アフターサービスについて	11

家庭用には使用しないでください

《ご使用のまえに》または《安全に正しくお使い頂くために》

製品を正しくお使い頂くためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な注意



火災注意



火気禁止



高温注意



一般的な禁止



触手禁止



必ず行う

■特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

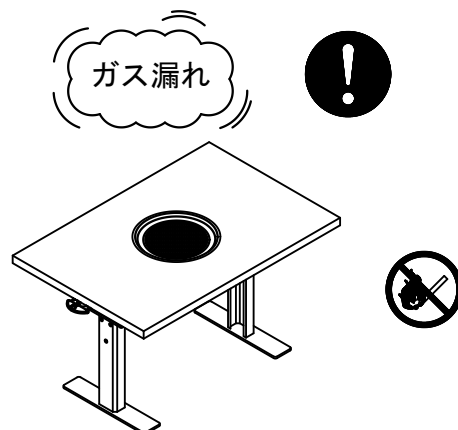
⚠ 危険

■ ガス漏れの処置

ガス漏れに気付いたときは①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ①すぐに使用をやめ、器具栓とガス栓を閉じてください。
- ②窓や戸を開けガスを外へ出してください。
- ③お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡してください。



⚠ 警告

■ 使用ガス

必ず形式銘板（機器燃焼部に貼付）に表示しているガス（ガスグループ）を使用する。
移設したときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを必ず確認する。

不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火で火傷したりすることがあります。また、故障の原因にもなります。

わからない場合はお買い上げの販売店またはガス事業者に連絡してください。

例：都市ガス12A、13Aの場合

品番：CTRK-271	
形式名：CTRK-271	
都市ガス12A、13A用	
ガス消費量	12A 3.30kW
	13A 3.60kW
00.00-000000	
山田金属工業株式会社	
業務用	使用可能な 最大ナベ寸法
	直径30cm

■ 点火確認・消火確認

使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめる。

使用後は消火と器具栓つまみが「閉」の位置の方向に「カチッ」と音がするまで戻ったことを確かめ、ガスの元栓を必ず閉じてください。火が立消えた状態で放置されると多量のガスがもれ、爆発の恐れがあります。



■ 日常の維持管理

日常の点検・お手入れを実施して火災予防上支障のない状態に維持管理することが、火災予防条例で求められています。

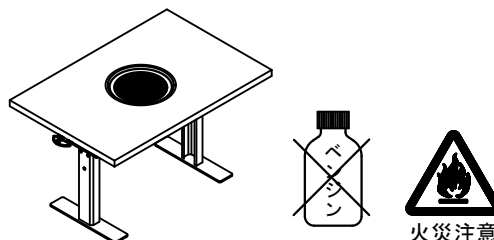
器具内部に油汚れが蓄積すると火災の原因となります。また炎口が詰まったり消耗したバーナは、未点火、立消えの原因となり、ガス漏れの危険が増します。



■ 火災注意

スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用しない。
機器の周囲にスプレー缶を置かない。

熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

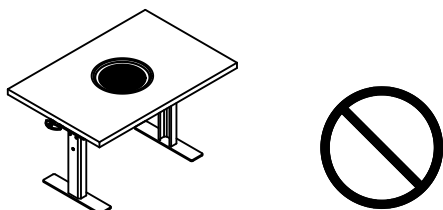


■ 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください。)

警告

■ 火災注意

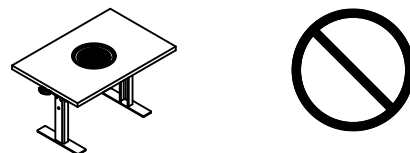
火をつけたまま放置することは禁止します。



料理中のものが焦げたり、燃えたりして火災になる場合があります。

■ 火災注意

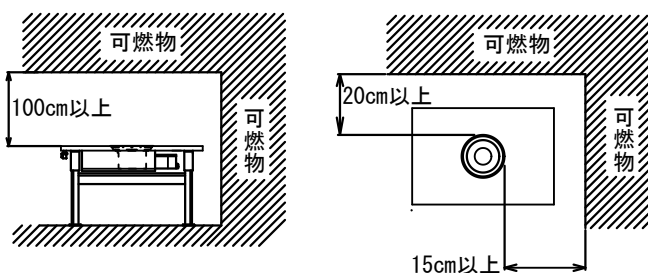
機器の上やまわりには、可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアゾール缶など）のものは置かない。



焦げたり、燃えたりして爆発や火災の原因となります。

■ 火災予防

設置や移動の際、（家具や壁・棚など）可燃性の部分から下図寸法を守って設置する。



■ 火災予防

汁受けが空だきにならないよう、水量に注意してください。空だきになりますと、汁受けに溜まった油に引火し危険です。



■ 換気に注意

換気口、吸気口は常に確保し、物などでふさがないでください。



不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

■ 換気に注意

窓を開けるか、換気扇を回すなどして必ず換気をする。

不完全燃焼による一酸化炭素中毒で死に至る危険があります。



■ 異常時の処置

使用中に異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときや、地震・火災など緊急の場合は、あわてずにガスの器具栓及びガスの元栓を閉じて使用を中止する。

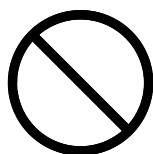
故障・異常の見分け方と処置方法（10ページ）に従ってください。

ガス栓を閉じる



■ 使用上の注意

ゴムの継ぎたし、及びニ又分岐はしない。



ガス漏れや誤使用などで危険な場合があります。

■ 使用上の注意

使用中や使用直後は、高温部には触れない。



機器本体とその周辺及び調理器具が熱くなります。特に小さい子供がいる場合ではやけどに注意してください。

■特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 注意

■ 使用上の注意

調理専用機器ですので調理以外の用途には使用しない。



火災注意

過熱・異常燃焼による焼損や火災などの原因になります。

■ 使用上の注意

機器を覆ってしまうような鉄板・陶板などは絶対に使用しない。



不完全燃焼や過熱による機器の焼損や火災などの危険があります。

■ 使用上の注意

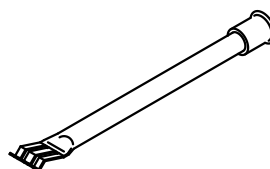
衣類の乾燥などに使用しない。



衣類が落下して火災になることがあります。

■ 使用上の注意

焼きアミの取り扱いには別売の専用持上げ金具を使う。



ぬれぶきんなどで持つと、やけどをすることがあります。

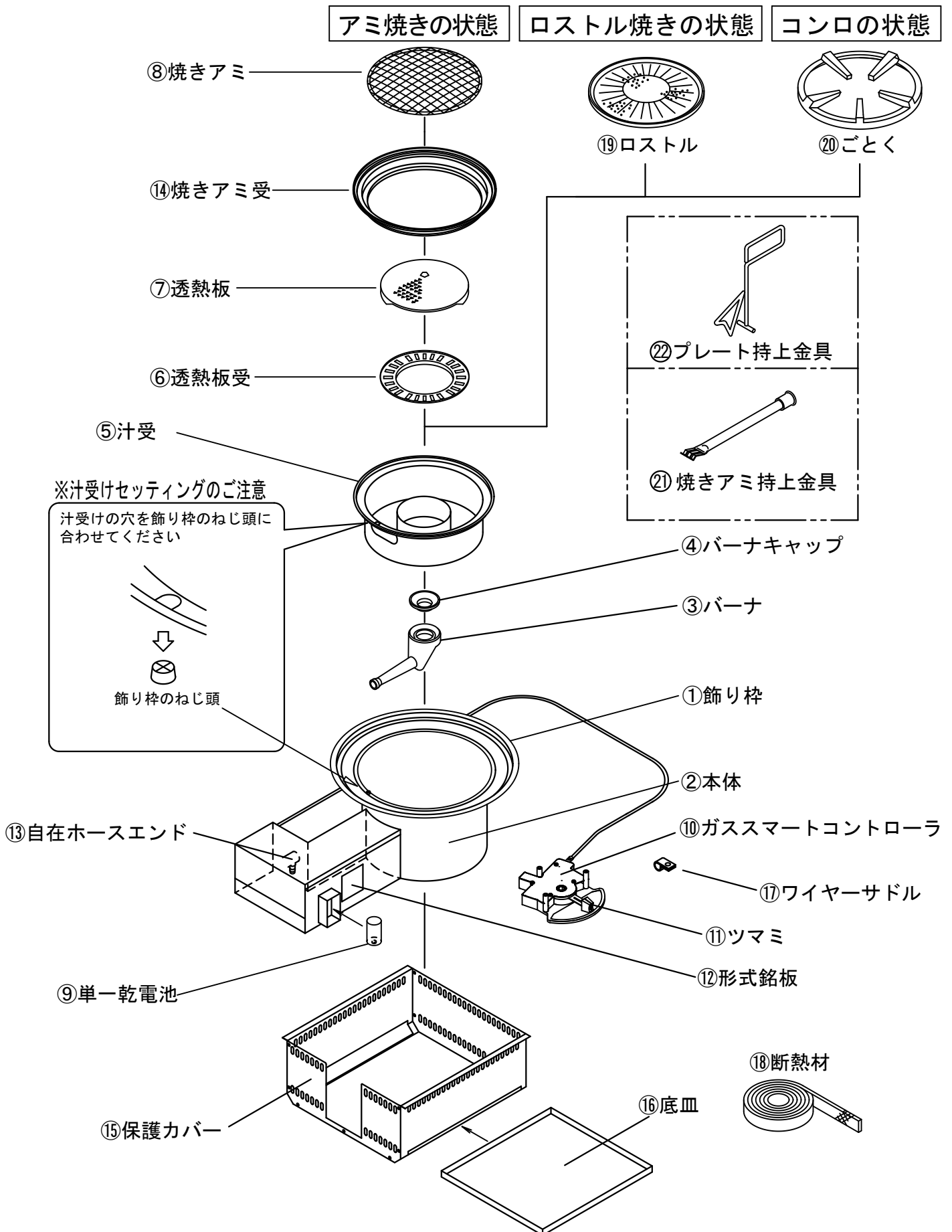
■ 使用上の注意

- ・補助具はこの料理器用の付属品以外は使用しないでください。
- ・焼きアミに焦げ付いた付着物が激しく燃え上がったときは、新しい物と交換してください。
- ・なべをお使いになるときは30cm以下のものをご使用ください。
- ・使用中、使用直後は、焼きアミ・バーナ・汁受・飾り枠などは高温になっておりますので手を触れないでください。
- ・この製品は業務用です。家庭用には使用しないでください。

お願い

- ・使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめてください。
- ・使用後は消火と、ツマミが「OFF」の位置の方向に「カチッ」と音がするまで戻ったことを確かめ、ガスの元栓を必ず閉じてください。
火が立消えた状態で放置されると多量のガスがもれ、爆発の恐れがあります。

■各部の名称と仕様



■各部の名称と仕様

■ 付属品

No.	部 品 名 称	は た ら き
①	飾 り 枠	天板にはめ込まれ、汁受を装着する部品
②	本 体	バーナを受けている部品
③	バ ー ナ	ガスと空気を混合する部品
④	バーナキャップ	バーナの上に装着して、安定した炎を出す部品
⑤	汁 受	水を入れて油や肉汁を受ける部品
⑥	透 熱 板 受	汁受の上に置いて、透熱板を受けるリング状の部品
⑦	透 熱 板	温度分布を良好にし、焼きムラを少なくする。また、バーナを保護する部品
⑧	焼 き ア ミ	調理用部品
⑨	単 一 乾 電 池	点火用の電源（1本）
⑩	ガススマートコントローラ	火力調節をする操作ケーブル
⑪	ツ マ ミ	火力調節用のつまみ
⑫	形 式 銘 板	製品番号、ガス種、消費量等を表示しているシール
⑬	自在ホースエンド	ガスの取入口
⑭	焼 き ア ミ 受	汁受の上に置いて、焼きアミを受けるリング状の部品
⑮	保 護 カ バ ー	本体からの熱を防ぐ部品
⑯	底皿	機器からこぼれた油などを受ける部品
⑰	ワイヤーサドル	ワイヤーを天板に固定する部品
⑱	断 熱 材	天板取付け穴の小口に施工する断熱部品

■ 別売品

⑲	ロ ス ト ル	調理用部品（品番：S-13K）
⑳	ご と く	鍋を使用するときの鍋を受ける部品（品番：S-2020）
㉑	焼きアミ持上金具	焼きアミ持上げ用金具（品番：S-103）
㉒	プレート持上金具	ロストル持上げ用金具（品番：S-103）

■ 消耗品（保証期間内であっても有償となる部品）

バーナ・バーナキャップ・透熱板・透熱板受・焼きアミ・ロストル・ごとく
バーナーおよびバーナーキャップは、バーナーセットとして交換してください。

■各部の名称と仕様

■仕様表

記載事項	記載内容
製品名	ガス焼物器（透熱板タイプ）
形式名	CTR K-271
点火方式	連続スパーク点火方式（単一乾電池）
空気調節器	固定式
寸法	W566×D400×H192（mm）
質量	9.0kg
ガス接続口	9.5mmゴム管用自在ホースエンド
最大なべ径	30cm

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量
都市 ガス	13A	3.60kW（3100kcal/h）
	12A	3.30kW（2840kcal/h）
LPガス		3.60kW（0.26kg/h）

■設置について

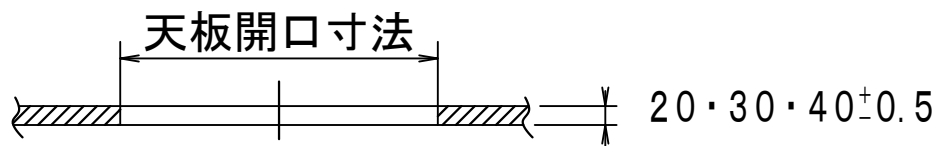
■設置前の準備

- ・ 機器にあったガス元栓を準備してください。（仕様表参照）
- ・ 機器をダンボールから取り出して梱包物をすべて取り除き、付属品を確認してください。
- ・ 機器の接触部の断熱保護に使用する断熱材を付属しています。断熱材は、機器を安全に長くご使用頂くために装着してください。尚、天板の開口寸法は下記の通りになります。

	天板開口寸法（mm）
断熱材をご使用になる場合	φ372.5 ± 0.5
断熱材をご使用にならない場合	φ368.5 ± 0.5

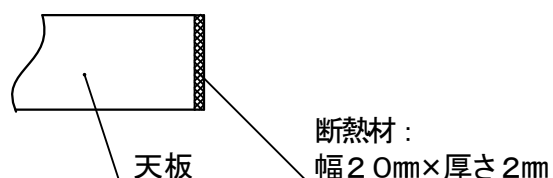
■機器の取付方法

- ①天板（厚み20・30・40mm）に穴をあけてください。



- ②穴の小口に断熱材をタッカで取付けしてください。タッカの針の止めピッチは5cm程度を目安にしてください。

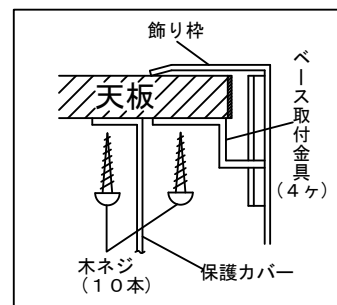
※タッカは付属しておりません。
 ※天板の厚さが30又は40mmの場合には断熱材を2段にしてください。



■ 設置について

■ 機器の取付方法（続き）

- ③ 機器をテーブルの穴に入れてください。
※脚の上にテーブルを仮置きして行うと容易に作業ができます。
・ 機器を持ち上げて《操作部》を①のテーブルの穴に先に入れてください。
・ 機器本体を斜めにして機器後方の《ガス接続口部》をテーブルの穴に入れてください。
・ 全体がテーブルと平行になる様に機器本体を穴の中にゆっくりと落とし込んでいきます。飾り枠がテーブル表面に接したら手を離してください。
- ④ 天板裏面より付属のベース取付金具を機器本体の固定穴にセットし、+木ネジで固定してください。
- ⑤ 操作部を付属の+木ネジで固定してください。
※ワイヤーはできるだけ大きく曲げてください。（内側の半径10cm以上）
※ワイヤーは機器本体に触れないように付属のワイヤサドルと+木ネジで固定してください。
- ⑥ 付属の単一乾電池を機器の電池ケースに入れてください。
- ⑦ 保護カバーを付属の+木ネジで固定してください。
- ⑧ 底皿を保護カバーに入れてください。
- ⑨ 脚を固定してください。



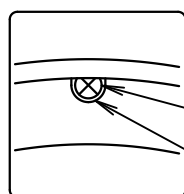
■ 設置場所

- ・ 棚の下など落下物のある所を避けてください。火災になることがあります。
- ・ 樹脂製の照明器具の下でのご使用は避けてください。照明器具のかさ等が変形することがあります。
- ・ エアコンの風が直接機器に当たらないようにしてください。
- ・ ゴム管の接続時にホースバンドを必ず付けてください。
- ・ ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短く、また器具の下を通したり器具に触れたりしないでください。

■ ご使用方法

■ ご使用前の準備

- ・ 装着部品がもれなく確実に装着されていることの確認。
- ・ 機器および機器周辺の確認。
- ・ ツマミが「OFF」の位置であることの確認。
- ・ 汁受の穴が飾り枠のねじ頭と合っていることの確認。



※穴とねじ頭が合っていないと、着火操作を行っても着火しない場合があります。着火操作を続けると、故障の原因となります。

- ・ 汁受に水を1000cc入れる。（※バーナに水がかからないように注意してください）
- ・ コンロとして使用する場合は、別売品の当社品番S-2020ごとくをのせてください。

■ ご使用方法

■ ご使用前の準備



- 透熱板はご使用前に器具で空焚きして下さい。
おこたると、パチパチはねる場合があります。
- 約5分間加熱して、無音になったことを確認した後、使用して下さい。
- 常にはねる様な場合は寿命ですので新品と交換して下さい。

■ 操作の方法

- ① ガス元栓を開く。
- ② 点火は、つまみを「OFF」から「ON」の方向へ「カチッ」となるまでスライドすると「チッチッチ」という音とともに点火を開始します。バーナに着火したことを確認してから手を離し、もう一度バーナに着火していることを確認してください。
 - ・ 汁受けに水を入れる時にバーナに水がかかると着火しなかったり、一部しか着火しない場合があります。その際はバーナキャップを取外して水をふき取ってください。
 - ・ はじめて点火するときは、ゴム管内に空気が入って点火しにくいことがあります。この場合は、2・3回点火操作を繰り返して行って下さい。
※着火しない場合、汁受けの位置がずれていないか確認してください。（7ページ参照）
※点火の際や点火しない場合、「ゴー」という異状音がする場合は、「故障・異常の見分け方と処置方法」を参照して処置して下さい。何度も点火操作を繰り返すとガスが溜まり危険です。
- ③ 消火は、つまみを「OFF」の位置にして「カチッ」と音がするまでもどし、消火したことを確認してください。
※消火したこと、つまみが「OFF」の位置まで戻ったことを必ず確認してください。

■ 火力の調節

火力調節は3段階に調節できるようになっています。
※火力調節の際はつまみをゆっくり動かしてください。速く動かすと火が消える場合があります。
※節度以外での使用はできませんのでご注意ください。特に節度以下にすると消火しますのでご注意ください。

■ 停電時のご使用方法

ご使用中に万一停電した場合、換気扇などが動かなくなり、換気ができなくなる為、窓を開けるなどして換気に注意してください。
窓が無く換気できない場合は、つまみを「OFF」の位置にし、ガスの元栓を閉じておいてください。

■ 使用する鍋について

直径30cm以上の鍋は使用しないでください。
鍋からの輻射熱などで機器及びテーブルが加熱され火傷や故障の原因になります。

■ 日常の点検・お手入れ

機器の性能を維持し、衛生かつガス漏れによる事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するために日常の点検・お手入れを実施して火災予防上支障のない状態に維持管理することが、火災予防条例で求められています。

■ 点検・お手入れの際のご注意

- ・ 日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
- ・ 特に煮こぼれした時は、必ずバーナの清掃を行ってください。
- ・ 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。
- ・ 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談ください。
- ・ 点検・お手入れの際には必ずガスの元栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- ・ お手入れの際には指先に十分注意してください。
- ・ 機器内部をお手入れする場合は手袋を着用し行ってください。各 부품の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意してください。

■ 点 検

- ・ 各部品とも正しくセットされていることを確かめてください。
- ・ バーナおよびその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめてください。
- ・ 炎を直視して点火し、火力調節を各節度に切り替え、それぞれ正常燃焼することを確認してください。各節度で火が消える場合は、バーナおよびバーナキャップを新しいものと交換してください。
- ・ 機器周辺に可燃物・障害物などがないか確認してください。

■ お手入れ

- ・ 汁受は、油汚れが多くなると不衛生になり、火災発生の原因にもなるので、お客様ごとに清掃してください。
- ・ バーナおよびその周辺の汚れは不完全燃焼の原因になるので汚れたら清掃してください。
- ・ バーナキャップは炎が不揃いになった時や汚れがひどい時に、バーナから取りはずしブラシ等で清掃してください。
- ・ 透熱板は、一日に一度やわらかいブラシ等で清掃してください。
油分が付着した場合のみ、やわらかいスポンジ等で中性洗剤をつけて水洗いし、すぐに乾燥させてください。
※浸け置き洗いは絶対にしないでください。サビ発生の原因となります。
※黒く変色した場合取れないことがあります。
※金属製のブラシ等は使用しないでください。表面の耐熱塗装が取れるとサビが発生し、穴があいたりして使用できなくなります。
- ・ 焼きアミは油が付着し炭化しますと、油煙の原因となりますので、お客様ごとに清掃してください。
- ・ 焼きアミ受は油や炭化物が付着すると取れにくくなりますので、やわらかいスポンジ等で中性洗剤をつけて水洗いしてください。
- ・ 機器内部は、油や炭化物が付着すると取れにくくなりますので、手袋を着用して一日に一度布切れ等で清掃してください。
- ・ お手入れと同時に、必ず前項の点検を行ってください。

■故障・異常の見分け方と処置方法

原因	現象										処置方法
	ガスの臭いがする	点火しない 点火しにくい	着火・火移りが しにくい	炎が黄火で燃える	炎が飛ぶように 燃える	異常な音をたてて 燃える	炎が異常に小さい	炎が異常に大きい	炎が安定しない	使用中に炎が消える	
ガス元栓の開きが不十分		○	○								ガス元栓を全開にする
LPガスがなくなりかけている		○	○	○				○	○	○	新しいボンベと交換する
配管中に空気が残っている		○	○		○				○		点火操作を繰り返す
銘板表示のガスと使用ガスの不一致		○	○	○	○	○	○	○	○	○	ただちに使用をやめ、販売店に連絡し使用ガスに合った機器と交換
点火操作が適切でない		○	○								正しい点火操作を行う
ツマミの開き不足		○	○					○		○	ツマミを一度「OFF」に戻してから再び点火操作を行う
バーナの炎口が詰まっている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	バーナの炎口を清掃する
バーナの取り付けが悪い		○	○	○	○	○		○	○		バーナを正しく取り付ける
バーナが劣化している		○	○	○	○	○	○	○	○	○	販売店に連絡し、修理して下さい
電池が切れている		○									新しい電池と交換する
ガス配管接続が不完全	○										ガス配管の接続を確実にする

■長期間使用しない場合

- 長期間使用されない場合は各部を清掃し、ガスの元栓を閉じて保管してください。

■アフターサービスについて

■ サービス（点検・修理など）を依頼される前に

- ・ サービスを依頼する前に10ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご連絡ください。
- ・ アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 - ① 品番・製品番号（銘板に表示のもの）・ガスの種類
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象（できるだけ詳しく）
 - ④ 製品購入日・販売店・訪問希望日・時間帯

■ 移設される場合

- ・ 移設によってガスの種類が変わる場合があります、その場合、工事や調整には専門の技術が必要になりますので必ずお買い上げの販売店またはもよりのガス事業者にご連絡ください。また、このときに要する費用は有料です。

■ 保証について

- ・ 「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、お買い上げ日より「1ヶ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - ① 誤った使い方をされたときの故障
 - ② 移動によって生じた損傷・故障
 - ③ 改造された場合の故障
 - ④ 天災による損傷・故障※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

■ 消耗品

- ・ 消耗品は、保証期間中でも有償となります。（5ページを参照）

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- ・ このガス焼物器の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

■ 連絡先

- ・ ガス焼物器をお使いになった上で、なにか不審な点や不具合な点がございましたら、お買い求めになった販売店か当社へ連絡してください。

YAMAOKA

山岡金属工業株式会社

ISO14001:2015/ISO9001:2015認証取得

本 社 / 〒570-8585 大阪府守口市東郷通2丁目7番30号
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045
東京支店 / 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階
TEL.(03)3255-6755 FAX.(03)3255-6722

URL <http://www.silkroom.co.jp> / E-mail info@silkroom.co.jp
夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。